

第142回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月22日（金）16:30～16:43
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（21日）の新規陽性者数は1,106人でした。

過去最多となった20日の1,232人から2日続けて1,000人を上回っております。

今月に入ってから77件のクラスターが発生しており、これまで多く発生していた学校や児童施設に加え、医療機関や福祉施設での発生も増加しております。

次に、4ページ、7月21日現在の療養者の状況です。

入院者が344人、うち重症者が0人となっております。

入院者数は、7月19日以降、300人を上回っております。

療養者数は、合計で6,771人となり、これまで最多であった4月9日の5,876人を2日続けて上回り、過去最多となっております。

また、宿泊療養施設の入所者数604人及び自宅療養者数5,287人も過去最多となります。

病床等の状況についてですが、即応病床数については、現在の感染拡大状況を踏まえ、通常時最大の749床への調整作業を行っているところですが、本日時点では、これまでの692床から36床増の728床となっております。

また、記載はございませんが、7月20日から福島市、郡山市の入院待機ステーションについても運用を再開いたしました。

なお、医療機関における院内感染が増加している状況にあることから、昨日、医療機関に対して通知を発出し、感染防止対策の更なる徹底をお願いしております。

次に、6ページ、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は295.17人（21日現在）。4月13日の228.19人を2日続けて上まわり、これまでで最多となっております。

次に、8ページ、病床使用率は45.9%（21日現在）。

レベル3の基準である50%に近づいております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数は、369.36人（21日現在）。これまでで最多となっております。

次に、13ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

南相馬市が400人を超え、須賀川市、福島市が300人を超えたほか、各市で200人を上回っております。

次に、14ページ、保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

相馬市は400人を下回りましたが、引き続き高い水準で推移しているほか、二本松市、本宮市で300人を超え、田村市が300人に近づいており、それ以外の市においても200人に近い水準で推移しております。

次に、15ページ。

「入院率」（5.1%）、「人口10万人当たりの療養者数」（369.36人）、

「PCR陽性率」（29.9%）、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」（295.17人）が、レベル3、

「病床の使用率」（45.9%）、「感染経路不明者の割合」（66.8%）が、

レベル2、

「重症者用の病床使用率」（0%）が、レベル1となっております。

なお、先日、「福島県感染拡大警報」として「基本的感染対策の再点検と徹底」等、8項目をお示しし、感染対策の徹底をお願いしたところですが、県民の皆さんへの周知を図るため、明日の地元紙朝刊にこの内容の広報を掲載いたします。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

17ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

1 接種実績につきましては、7月20日時点で、3回目接種の回数が、1,287,178回、全人口に対する接種率は69.1%となっております。また、4回目の接種回数は95,841回となっております。資料中段の囲みの部分、想定される7月末累計の対象者、約153万2千人に対する3回目の接種率は84.0%となっております。なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が38.7%、2回目が35.5%となっております。

次のページをご覧ください。

8月に実施するワクチン接種予定についてご説明します。

ノババックス社ワクチンを用いた1回目から3回目の接種について、7月に引き続き、県内4地域で実施することとし、予約受付を明日7月23日(土)から開始いたします。

最後に、資料はございませんが、ワクチン接種を巡る動向について御報告いたします。

本日、国において開催された厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、4回目接種の対象者に医療機関、高齢者施設等の従事者を追加することが了承され、本日22日から実施可能となりました。

また、併せてノババックス社ワクチンの1回目・2回目接種の対象年齢について、これまでの18歳以上から12歳以上へと拡大することが、了承されたことから、県の接種においても、明日の予約受付分から対象者に加えることとしております。

今後、ワクチン接種が円滑に進むよう市町村と連携し、しっかりと取り組んでまいります。

説明は以上です。

(3) その他

(仲村准教授)

7月に入り、連日、前の週の平均に比べると、倍に増加するような感染者数の増加が続いています。

これは福島県のみではなく、全国的に同じ傾向にあり、ほとんど全ての県で感染者数はピークに達しておらず、今後もさらなる感染者増加が予想されます。

医療機関の病床使用率は既に50%に迫っており、第6波のピークに近づいてきています。

海外における報告では、「変異株では重症者が少ない」とされていますが、高齢者や基礎疾患のあるような方が感染すればするほど、やはり重症化のリスクが高まるのではないかと考えられます。

また、県内の多くの部分でクラスターが起こっており、医療機関を逼迫させることが考えられます。

今、このウイルスの伝搬性が非常に高い時期であり、適切にマスクを着用し、対人距離をとる、体調管理をするなど、個人レベルの感染対策の意識を強く持っていただきたいと思います。

(知事)

はじめに、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、県民の皆様、事業者の皆様においては、あらゆる場面において、感染拡大防止に御協力を頂いており、御礼を申し上げます。

全国では、昨日、1日当たりの新規陽性者数が18万人を超え、35都府県で過去最多を更新するなど、感染が急拡大しています。

本県においても、1日当たりの新規陽性者数は、前の週の同じ曜日の2倍を上回る日が続いており、2日連続で千人を超える感染者が確認されるなど、感染が急激に拡大しています。

また、病床使用率も5割に近づいてきており、医療提供体制への負荷が日に日に増しています。

さらに、オミクロン株BA.5系統への置き換わりも急速に進み、今月18日から21日までに行われたゲノム解析では、感染者に占めるBA.5系統の割合が40%と高まってきていることから、1日当たりの新規陽性者数は、今後も増加していくおそれがあります。

こうした状況を踏まえ、これ以上の感染拡大を防ぐため、一昨日(20日)、「福島県感染拡大警報」を発出しました。

県民の皆様には、「基本的な感染対策の再点検と徹底」をお願いします。場面に応じたマスクの着用や三密など感染リスクの高い場面を避けること、症状がある場合は、外出を控

え、早めに医療機関を受診すること、体調不良時には、会食やイベントに参加しないことなどを、県民の皆様お一人お一人がしっかり行っていただくようお願いいたします。

また、オミクロン株B A. 5系統は感染力が強いと言われており、換気が重要なポイントとなります。換気が不十分な室内や、混雑した室内に長時間滞在すると、感染リスクが高まります。機械換気による常時換気や、二方向の窓開け換気などにより、効果的に換気を行うようにしましょう。

また、感染者の増加により、病床使用率が急速に高まっています。

医療機関において感染が拡大すると、一般診療にも負荷が生じ、医療体制のひっ迫につながります。是非、医療従事者の皆様に感染を広げない行動をお願いいたします。

具体的な対策については、テレビCMや新聞広報等でもお知らせしますので、県民の皆様においては、御自身と大切な人の命を守るため、熱中症にも注意しながら、感染対策に取り組んでいただくようお願いいたします。

多くの学校で夏休みが始まり、旅行や帰省、飲食の機会が増えることが想定されますが、現在のように、全県で感染が拡大している状況においては、県民の皆様お一人お一人が感染対策に取り組んでいただくことが何よりも重要です。医療機関を始め、社会の機能を維持していくためにも、感染対策の徹底をお願いいたします。

各部局、各地方本部、各保健所においては、強い危機意識を持って、県民の皆様の命と健康を守るため、迅速、的確に対応を進めてください。